

野生獣被害防止「恒久電気柵」設置に係る現地研修会開催要領

1 研修会の趣旨

野生獣による農作物被害を防ぐため、電気柵を活用した対策技術が確立されつつあります。

また、大規模圃場が多く積雪も多い本県では、フェンシングワイヤーを利用した「恒久電気柵」が主流となりつつあります。

一方、この方法は施工に一定の技術が必要であると同時に、その施工内容は少しずつ改良されていることから、効率的効果的な設置方法と新たな施工内容に関して、現地研修会を開催することにしました。

2 実施時期と内容

時 期	会 場	内 容	方 法
平成 30 年 8 月 7 日 (火) 9:30-16:00	岩手県立農業大学校 胆沢郡金ケ崎町六原 蟹子沢 1 4 0197-43-2211 国際交流館+現地ほ 場	電気柵設置研修 9:30-9:40 開会式 9:40-10:20 電気柵の原理とフェンシングワイヤーを利用した恒久電気柵のメリット 10:30-11:00 フェンシングワイヤーの設置手順と巻き付け等 11:00-12:00 13:00-16:00 「フェンシングワイヤーを利用した電気柵設置」 ※大面積ほ場におけるハクビシン等小動物も対象とした恒久電気柵です ＝ニホンジカ・クマ・小動物兼用柵 ※防草シートを活用することで省力管理できる恒久電気柵を設置します	座学 座学と室内 実習 設置実習

※本校においてイノシシによる被害はありませんが、恒久電気柵については、活用できるものです。

「集合場所と集合時間」

9:20 までに、県立農業大学校国際交流館（農業大学校図書館の西隣）にご集合ください。

（JR 六原駅からの移動が困難な場合はご相談ください）

3 参集範囲 農業者・関係者

4 参加申し込み

参加を希望される場合は、別紙にて 8 月 1 日 (水) までにメールまたは fax にて担当者あて申し込み願います。

5 その他

(1) 実習について

現地での設置実習になりますので、作業ができる服装と、作業用の「薄い革手袋」または「軍手」をご持参ください。また水分と帽子など、熱中症対策をお願いします。

真夏日・猛暑日となる場合には、お昼休憩を長く取り午後の部の開始を遅らせる場合があります。

また、小雨の場合は決行します。大雨が予想される場合には中止とし、前日（6日）に連絡しますので、予め参加報告（連絡先メールアドレス）をお願いいたします。

(2) 本研修会は、農林水産省「鳥獣被害防止総合対策交付金（鳥獣被害防止都道府県活動支援事業）」を用いて実施するものです。

(3) 昼食は大学から車で5分のところにコンビニエンスストアが、車で10分のところに食堂があります。

(4) 問い合わせ先 県立農業大学校酪農経営科 中森忠義

(TEL:0197-43-2211 E-mail:t-nakamori@pref.iwate.jp)